

令和3年度 果樹茶業試験研究推進会議及び
関東東海北陸・近畿中国四国・九州沖縄農業試験研究推進会議合同茶業部会
研究会（Zoom 会議）開催要領

果樹茶業試験研究推進会議茶業推進部会長
関東東海北陸農業試験研究推進会議茶業部会長
近畿中国四国農業試験研究推進会議茶業推進部会長
九州沖縄農業試験研究推進会議茶業推進部会長

1. 趣旨

それぞれの地域の農業試験研究推進会議茶業部会は、それぞれテーマを決めて秋に現地研究会を開催していたが、令和3年度は果樹茶業試験研究推進会議とも合同でオンラインによる公開シンポジウム「茶におけるスマート農業の現状と課題」として研究会を開催することとした。

農林水産省は、現在、技術発展の著しいロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を図るため、平成31年度より「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」を開始した。茶業においても、本プロジェクトにこれまで4課題が採択され、営農経営体や地域営農の現場において、スマート技術の導入可能性を明らかにするために、それらの技術を通年利用する実証試験が行われ、2課題が終了、2課題が継続中である。そこで、茶におけるスマート農業について Zoom 会議によるシンポジウム形式で研究会を開催、情報交換を行い、今後の茶業研究の参考とする。

2. 主催 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 協力 「知」の集積と活用の場 「未来茶業」研究開発プラットフォーム

3. 開催日時

令和3年9月14日（火） 13：15～16：30（予定）

4. 開催場所

Zoom による Web 会議。会議アドレスについては、参加申し込み者に連絡する。

※Zoom 会議のアドレスは会議出席者以外には公開しないでください。

5. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・試験研究機関、近畿中国四国地域各府県行政・試験研究機関、九州地域各県行政・試験研究機関、農林水産省農産局、農林水産技術会議事務局、地方農政局、農研機構果樹茶業研究部門、「未来茶業」研究開発プラットフォーム参画機関、生産者、その他部会長が必要と認められた者

6. 内容・議題

(1) 研究会：茶におけるスマート農業の現状と課題

(2) 総合討議

7. 出席申し込み

方法：参加申込書（別紙エクセルファイル）を電子メール添付により事務局まで提出

期限：令和3年8月27日（金）

8. 事務局

農研機構 果樹茶業研究部門 研究推進部 茶業連携調整役 吉田克志

Tel: 0993-76-2126（代表）

E-mail: cha-renkei@ml.affrc.go.jp

9. その他

資料提出、その他の詳細については、別途事務局から連絡する。

研究会進行予定表

- | | |
|-------|---|
| 12:45 | 接続開始 |
| 13:30 | 1. 挨拶 茶業研究領域長 角川 修 |
| 13:35 | 2. 話題提供 |
| | 1) 静岡県スマート茶業実証「LoRaを活用した茶園ネットワークの形成による、分散茶園の省力管理と茶工場の品質コントロールを核とした、茶業経営の一環技術体系の実証」の取り組みについて |
| | 2) 堀口製茶スマート実証「IoT技術・ロボット化技術を活用した大規模茶生産スマート茶業一貫体系モデルを構築」の取り組みについて |
| | <休憩 14:35-14:45> |
| 14:45 | 3) 京都てん茶スマート実証「中山間傾斜地における高品質てん茶の省力生産体系の実証」の取り組みについて |
| | 4) 静岡スマート有機抹茶実証「有機抹茶の輸出拡大に向けた中山間地域におけるスマート農業技術の導入による生産・加工・流通体制の構築の実証」の取り組みについて |
| | <休憩 15:25-15:35> |
| 15:35 | 4. 総合討議 |
| 16:30 | 5. 閉会 |